

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

| | | | |
|------------------------------------|--|--|----------------------|
| 【研究課題名】 | 進行期 IgA 腎症における血尿の意義についての検討 | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 我が国において、IgA 腎症は最も頻度の高い糸球体腎炎であり、約 40%は 20 年以内に末期腎不全に至ると言われています。IgA 腎症の治療に対してステロイド治療は広く行われていますが、腎機能障害を有する症例に対しては有効性が示されていません。 本研究の目的は、腎機能障害を有する IgA 腎症に対する治療経過として、経過中の血尿寛解の有無と腎予後との関連を明らかにすることです。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3. 対象となる方等 | 腎機能障害を有する IgA 腎症の患者さんで、2009 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日の間に本学関連施設にて腎生検を施行した 18 歳以上の方。 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1) 試料の種類 | 試料は使用しません。 | |
| | (2) 試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3) 情報の種類 | 診断名、性別、年齢、検査結果（血液検査、尿検査、腎生検所見）内服薬、治療内容 | |
| | (4) 情報の取得の方法 | 診療録から診療時のデータを収集します。 | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学 腎臓高血圧内科学講座 |
| | | 氏名 | 横尾隆 |
| | (2) 当施設の長 | 東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥 | |
| | (3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者 | 東京慈恵会医科大学 腎臓高血圧内科学講座 渡邊真央 | |
| (4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者 | この研究では共同で研究を実施する機関はありません。 | | |

| | |
|---------------------------|---|
| 6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年8月頃～ |
| 【問い合わせ先】 | 機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 腎臓・高血圧内科 研究責任者：教授 横尾 隆（よこお たかし） 窓口担当者：助教 渡邊 真央（わたなべ まお） 電話番号：03-3480-1151（内線 2436） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00 |

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。